クマの出没に注意！

夏のクマ注意報！

○ 夏は山の食べ物が少ない季節です。

6 月から 8 月のクマの食べ物は、ウワミズザクラの実やヤマグワ、キイチゴ、そしてアリやハチなどです。

食べ物を求めて、集落近くのサクラの木や休耕地のクワの実を食べに、出没する場合があります。

トウモロコシや養蜂・早生の果物の味を覚えると、集落近くに居付いてしまうこともあります。

○ 子グマにも注意を。

この時期、親からはぐれてしまった子グマや独り立ちした若いクマが、山で食べ物をうまく採れずに、集落のほうへ降りてきてしまうことがあります。

このような子グマは、昼間でも集落近くに現れ、目撃されることが多くなりますが、人に危害を加えることはありません。花火などでおどして追払いましょう。

＊親グマと一緒の子グマに出くわしたときは、すぐにその場を離れましょう。

【クマと遭遇しないよう下記のことに注意してください。】

◇ **朝夕の行動は避ける**

明け方と夕方はクマの活動が活発です。この時間帯は、山中に入らないようにしましょう。昼間でも山中ではクマが活動していることを想定しながら行動してください。

◇ **笛、ラジオ、鈴の携帯を**

人の気配を感じたら、クマは自分から人を避ける行動をとります。

まずは人がいることをクマに知らせましょう。そのために、笛、ラジオ、鈴など音の出る物を携帯してください。

また出来るだけ単独での行動はやめ、畑仕事中はラジオを鳴らすなど、音を出すものを身近に置いてください。

クマとのバッタリ遭遇が一番危険です。
まずはクマに人の存在を知らせましょう。

【集落ぐるみで防除対策を】

◇ **クマが隠れる場所を減らす。**

クマは川沿いのヤブや山裾のヤブ、休耕地などを伝って、集落に近づきます。

草刈り、ヤブの刈り払いはクマ対策に有効です。

◇ **電気柵で農作物の防除を。**

トウモロコシや養蜂など、クマが好む農作物などは電気柵でしっかりと囲いましょう。

◇ **生ゴミや廃果の処理をしっかりと。**

生ゴミや取り残しの農作物は、クマにとって食べ物になります。

集落にクマを呼び寄せないよう、埋めるなど処理をお願いします。

＊キャンプ場や野外レクリエーション施設では、残飯・生ゴミを持ち帰るよう、お願いします。